

1 研究主題

一人一人がいいきと輝く教育をめざして
～言語活動の充実を通じたユニバーサルデザインの授業づくり～

2 研究の具体

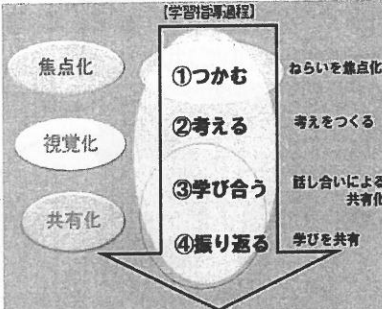
<視点1> 一人一人が主体的に取り組む授業づくり

「分かる」「できる」授業の工夫

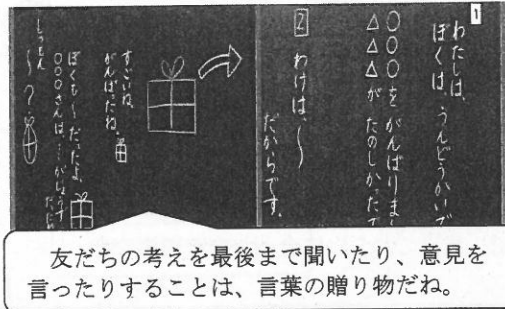
基礎となる言葉の力を高める工夫

学習環境の整備

【ユニバーサルデザインの授業】



【週1回の「話し合いタイム」】



【学習の流れを提示】

- ① ふくしゅう
② きょうのめあて
③ 自分でかんがえる。
④ はんでかつどう
⑤ みんなでかつどう
⑥ まとめ
⑦ ふりかえり

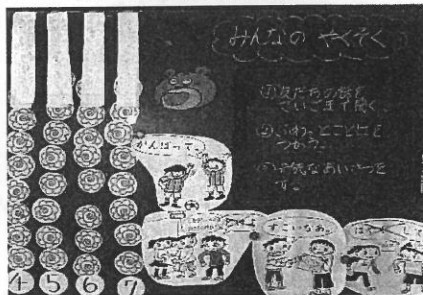
<視点2> 一人一人が安心して楽しく過ごせる集団づくり

発言や行動のルールづくり

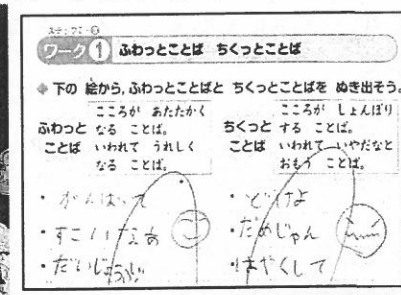
自尊感情を育む学級集団づくり

かかわりを広げる仲間づくり

【ルールの明確化と評価】



【ソーシャルスキルトレーニング】



【学年の枠を超えたかかわり】

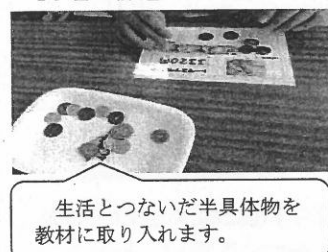


<視点3> 一人一人の教育的ニーズに応じた支援

個の教育的ニーズに応じた個別指導の充実

チームによる支援体制の確立

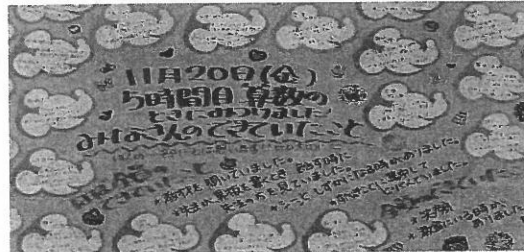
【学習の課題への支援】



【気持ちの安定への支援】

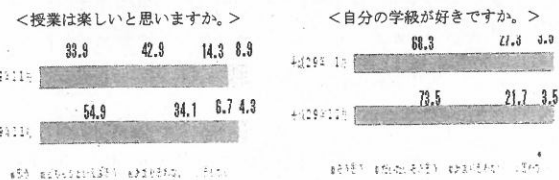


【支援アドバイザーによる WOWW アプローチ】



3 研究の検証及び改善の手立て

- 一人一人を大切に授業づくりや集団づくりにより、「授業が楽しい」「自分の学級が好きだ」と感じる児童が増加した。
● 満足感を味わえていない児童に対して、更に個に応じた支援が必要である。



1 研究主題

こころはずむ、主体的に学ぶ授業づくり
～ 互いに学び合い、高め合う児童の育成 ～

2 研究の具体



3 研究の検証及び改善の手立て

- 全国学力学習状況調査を比較すると、課題に対して自ら考え取り組んでいると回答している児童が増えている。これは、児童とともに作る単元計画や学習課題の工夫、児童同士の学び合いの場の充実などを実践してきたことが、児童の主体的な学習につながったと捉えている。
● 「学び方名人」や「発表ことば」を活用しながら話し合いを深めたり、友だちと交流する時の手段の一つとして思考ツールを活用したりする実践を積み重ねていくことで、自分の考えを深めたり広げたりすることができる児童の育成に継続して取り組んでいきたい。

